

かわまち大賞 2019 について

国土交通省により、全国で進められている「かわまちづくり」の中から、地域を流れる川を活かして、賑わいを創り出し、他の模範となる先進的な取組を讃える『かわまち大賞』が平成 30 年度に創設されました。

本年度のかわまち大賞に盛岡地区も応募しました。惜しくも受賞は逃しましたが、9 月に Park-PFI 事業で木伏緑地がオープンするなど、盛岡地区かわまちづくりに対する評価は高いと言えます。今後も、かわまち大賞に継続的に応募していく予定です。

【参考資料】

- ・受賞箇所の取組及び評価
- ・審査委員会開催概要
- ・かわまち大賞の概要



しなのがわ てい
信濃川やすらぎ堤かわまちづくり

【題名】 ミズベからにぎわいを、まちへ。

【河川】 信濃川水系信濃川（一級河川）



かわまちづくりの概要

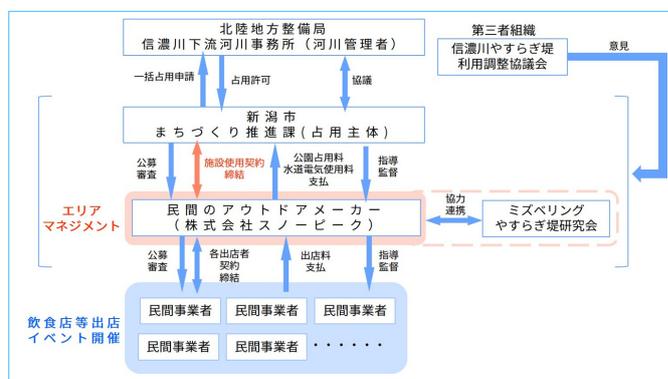
- 地域、市、国等の多様な主体が連携し、ミズベリングや商業活動の取組等と一体となり水辺に更なる賑わいを創出することで、川とまちが融合した魅力的なまちづくりを推進。
- 平成29年度からは民間のアウトドアメーカーが「アウトドアと健康」をテーマに全体のマネジメントを担い、水辺の賑わいと経済効果を創出。

評価のポイント

- 民間企業の意欲的参加により、都市部で民間企業がかわまちづくりに参加するメリットを体現し且つ新たな観光スポットとなり経済的な成果を出している。
- 民間事業者が参加運営する模範的なモデルを形成するとともに、社会実験の実施、地元の受入体制、周辺環境整備などもあわせてできており、他の地区の参考となる。

体制

- 推進主体：ミズベリングやすらぎ堤研究会



効果



左：来場者数（人）の推移、右：売上（万円）の推移

問合せ先：新潟市都市政策部まちづくり推進課

TEL：025-226-2716 E-Mail：machisui@city.niigata.lg.jp



みのかもちく

美濃加茂地区かわまちづくり

【題名】主にリバーポートパーク美濃加茂の整備・運営による新たな賑わいの創出とかわとまちの回遊性向上
 【河川】木曾川水系木曾川（一級河川）



かわまちづくりの概要

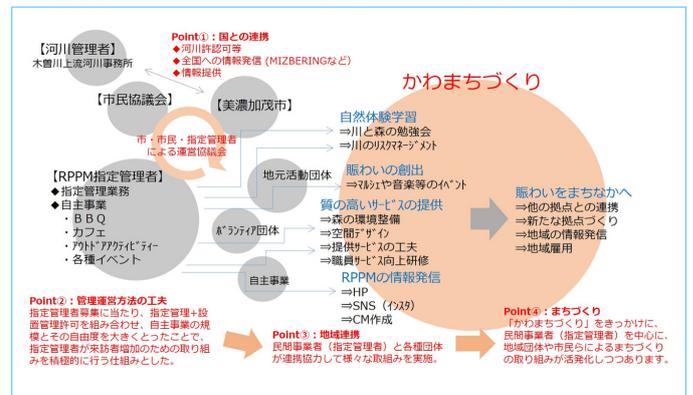
- 川遊びやBBQ、川のリスクマネジメント、プレイパークなどの地域資源を活かしたプログラムを官民共同で考え、それらを繋げるように公園・建築をデザインし、人と人、人と自然、多世代・多文化が交わる交流拠点を整備。
- 地域活動団体、指定管理者、行政が連携し、各種イベントの開催により賑わい・憩いの空間創出を推進。
- かわとまちを繋げるため、船着場や水際遊歩道の整備、コミュニティバス、レンタサイクル事業等を実施。

評価のポイント

- 若者・デザイナー・市民団体など多様な関係者の繋がりが、地域の歴史文化（中山道・太田宿等）との繋がりが、指定管理者による他地区のノウハウの導入など、非常に連携性があり、他の地区の参考となる。
- 指定管理者の枠組みを用いた運営の仕組みを独自に作り、様々な合意形成を図り関係者と連携しつつ、創造性に富んだ事業運営を意欲的に行い成功させている。

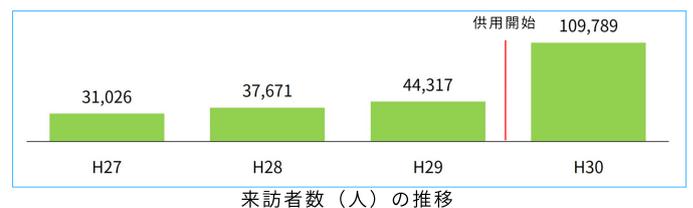
体制

- 推進主体：美濃加茂市かわまちづくり協議会、美濃加茂市かわまちづくり推進部会、地域の活動団体



管理運営体制図

効果



来訪者数 (人) の推移

問合せ先：美濃加茂市建設水道部土木課

TEL：0574-25-2111

E-Mail：masayuki.otsuka@city.minokamo.lg.jp



うちまち しんまちちく

内町・新町地区かわまちづくり

【題名】笑顔みちる「ひょうたん島」

【河川】吉野川水系新町川・助任川（一級河川）



かわまちづくりの概要

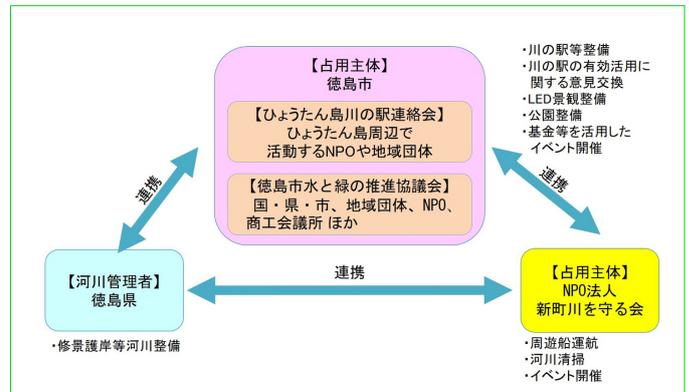
- かつては生活排水で汚れた川を、国・県・市はもとより民間も一体となったボランティア清掃、水質浄化、空間整備、舟運などの様々な取組みの結果、人々が集う「街を象徴するエリア」として再生。
- LEDを活用した景観整備や「ふるさと納税型クラウドファンディング」を利用した青石による修景護岸整備、「河川空間のオープン化の特例」を活用した水辺を舞台とした様々なイベント開催など、官民連携による地域資源を活用した新たな取組みを実施。

評価のポイント

- 大阪や東京より前に舟運を開始し継続して活動を実施してきた実績、船等を企業から寄付してもらうなどの連携性、これまでの水辺の活動をリードしてきた実績があり、次世代への継承も期待できる。
- NPO法人が舟運を守り続け、民間が頑張ってきた歴史ある取組みと言える。舟運等の河川を利用した活動が地域活性化につながる事例として、他の地区の参考となる。

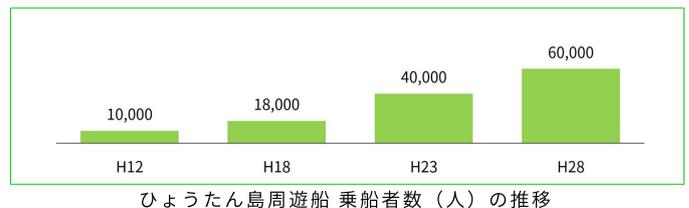
体制

推進主体：認定NPO法人 新町川を守る会・徳島市



管理運営体制図

効果



問合せ先：徳島市企画政策局企画政策課

TEL：088-621-5085

E-Mail：kikaku_seisaku@city.tokushima.i-tokushima.jp

令和元年度「かわまち大賞」 審査委員会開催概要

開催日時: 令和元年9月30日

開催場所: 国土交通本省会議室

1. 応募箇所

- 「かわまちづくり」支援制度には、現在、213件が登録されており、その中から今年度は、11件の応募がありました。

2. 審査委員会

- 審査委員会は、河川に造詣が深い、都市計画・エリアマネジメント・観光等の分野の有識者4名で行われました。

	氏名	所 属
委員長	陣内 秀信	法政大学 特任教授
委 員	楓 千里	(株)JTBハブリッキング エグゼクティブ・アドバイザー
委 員	中庭 光彦	多摩大学経営情報学部 事業構想学科 教授
委 員	保井 美樹	法政大学 現代福祉学部 人間社会研究科 教授

(五十音順、敬称略)

3. 審査結果

- 今後の「かわまちづくり」の方向性を示すことを重視し、選定委員の総意により、「かわまち大賞」として2件、「審査員特別賞」として1件が決定されました。

【参考】『かわまち大賞』の概要

- ◆ 河川空間を活用し、地域の賑わいを創出した、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰し、その取組を、全国に周知します。
- ◆ 取組団体を讃えるとともに、「かわまちづくり」支援制度を浸透させ、民間事業者の参入を促進し、民間事業者のもつ「ノウハウ」等を活かした質の高い「かわまちづくり」を目指します。

